



さくらっ子

No. 7
R3. 7. 13発行
発行責任者
校長 小関 洋

【重点目標】 よさを見つけ 高め合おう

■ そら豆？

6月末の昼休みに校庭を歩いていると2年生の男の子が突然やって来て「校長先生、変なの付いてるから来て見て」と誘われました。ついて行くと、藤棚の下に着き、指の差す方を見るとたくさんぶら下がっている物がありました。「あれ、取ってください。」そら豆ほどの大きさの藤の実です。「特別だよ。」と言って取ってあげました。中を開かず友達と喜んで教室に戻りました。



2週間後、今度は1年生の女の子に「2年生に取ってあげたの取ってください。」とお願いされました。

また、「特別だよ。」と言って取り、今度は固い殻の縦筋に爪で切れ目を入れて渡しました。女の子が開くと、中に小さな豆が6個入っていました。時期が早かったせいか小ぶりでした。この豆、食べられそうと思って調べると、「ウィスタリン」という有毒物質が含まれており、食べ過ぎると下痢や腹痛をおこすと書いてありました。少量を食べる方もいるようですが、やめた方がいいですね。



■ 東日本大震災を乗り越えて。私たちにできること！

5年生が相馬市まちづくり出前講座で「震災と復興状況」について学びました。震災は、5年生が生まれた年度に起きたので、震災の記憶はありません。震災直後の写真を見せていただき被害状況や震災後の復興状況をクイズ形式で教えていただきました。

最後に、これから自分たちでできることをグループで考えました。子どもたちが頼もしく見えました。

- ①地震発生：2011年3月11日午後2時46分
震度6弱。約3分間続く。
- ②津波：午後3時50分頃 約9m
- ③避難所：約4500人が23カ所で約3ヶ月間生活
- ④仮設住宅：約3800人(1400家族)が12カ所で生活
- ⑤ボランティア：1年間で約10,000人
- ⑥放射線対策：給食の測定、浴びた量の検査、きれいに洗う、正しい情報の発信、放射線教育…
- ⑦現在の漁獲高：震災前の約2割
- ⑧子どものために行ったこと：タブレットでの勉強、遊び場の設営、心のケア
- ⑨新しく建てた施設：26。公園、プール、市民会館…。
- ⑩災害への備え：震災の伝承、防災備蓄倉庫、他市町村との相互応援協定14カ所

- ①家族で災害の時にどのような行動をするか話し合う。
- ②いつ災害が起きてもいようにハザードマップを見たり防災グッズを用意したりする。非常食も準備する。
- ③相馬市産は安全であることをインターネット等で伝える。
- ④福島県や相馬市の良さを伝え広める。
- ⑤福島県の野菜や果物など特産品を買ったり食べたりして応援する。…



■ 6年国語 短歌の学習から

6年生の作品を紹介します。

- ・ 楽しみは 友達みんな 集まって 楽しく遊び
笑い合う時 ()
- ・ 楽しみは どんどん進む ストーリー 一人静かに
本を読むとき ()
- ・ 楽しみは 宿題終わり 友達と イヤホンつけて
ゲームする時 ()
- ・ 楽しみは サッカー練習終わったら 家族楽しく
食事する時 ()
- ・ 楽しみは 自分の部屋で 一人きり 音楽聴いて
過ごしてる時 ()
- ・ 楽しみは 3匹の犬 なでながら おやつをあげて
じゃれている時 ()

■ オリンピックトーチ 来る！

7月5日(月)～9日(金)の期間、本校にオリンピックのトーチを展示しました。このトーチは、聖火ランナーを務めたフレスコキクチの社長様よりお借りした物です。このデザインは、南相馬市の小学生が描いた桜の絵を見て着想したもので、仮設住宅で使われたアルミ建築廃材も30%入っているという私たちにゆかりのある物なのです。

光輝くトーチに子どもたちは目を輝かせながら持っていました。菊地様ありがとうございました。

